

スタッフ発表会を開催しました

3月11日、14日、15日の3日間、『令和3年度スタッフ発表会』を開催しました。この発表会では、きらめきプロジェクトに所属する医師・歯科医師が1年間の活動の記録をまとめたポスターを、本院外来診療棟2階ギャラリーに掲示いたしました。



ポスターには、出産・育児・自身の病気や介護等のプライベートと仕事の両立の工夫や、1年間で得られた診療・研究の成果が記され、お越しいただいた方からは「先生方のお仕事以外のことわかって、とても良かったです。もっといろんな方に見に来ていただきたいと思いました！」



「大変な中、頑張られてキャリア向上を目指されている先生方の姿に勇気づけられます。」

「同級生の近況がわかって良かった！」など、たくさんの感想をいただきました。



きらめき通信 vol.68

2022年5月（隔月発行）

キャリア・ジェンダーに関する講義を行いました



医学部2年生を対象に、きらめきプロジェクトの責任者である加藤聖子先生と顧問である樗木晶子先生が、実体験や、専門の観点よりキャリア・ジェンダーに関する講義を遠隔にて行いました。

加藤聖子先生



日時 令和4年4月25日 1・2限目
対象 医学部2年生 138名
講師 きらめきプロジェクト
プログラム責任者：加藤聖子
顧問：樗木晶子

樗木晶子先生



学生の感想(抜粋)

- * 女性医師としてキャリアを積まれてきた先生の話は興味深かった。
- * 将来のプランについては、出産、育児をしながら仕事をするのは難しいというイメージが強く、仕事を続けることに対して前向きな考えはあまり持っていませんでしたが、今回の話を聞いて、あらかじめプランを考えておくことの大切さや行われている支援を活用することで、前向きに検討することができるのではないかなと思えるようになりました。
- * 子宮頸がん、乳癌、卵巣癌、更年期障害など、女性を取り巻く健康問題について体系的に学べたので良い機会になりました。
- * 自分はまだ学生だが、性別にとらわれた考え方で今後も物事を判断しないようにと自分を再び戒めるいい契機になったと思います。男女の役割分担がお互い不自由なく上手く分担できている理想形が当たり前になる世の中を一人一人が意識することが大事なだろうと感じました。

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX : 092-642-5203

E M A I L : kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

U R L : <https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/>



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

2021 年度春よりきらめきプロジェクトに所属させて頂いております、卒後 13 年目の皮膚科医師です。現在所属 2 年目に突入しています。家族構成は山口県で整形外科医をしている夫とまもなく 2 歳半になる長女の 3 人家族です。夫は単身赴任中ですが、近くに住む両親に助けてもらいながらなんとか生活しています。

2018 年に皮膚科専門医を取得し、2019 年に長女出産後にコロナ禍となり 1 年以上のブランクとなったため、皮膚科専門医としての将来と育児の両立について悩んでいたところ、きらめきプロジェクトについて知り、応募させていただきました。

勤務形態は週 3 回大学病院で外来業務を行っており、その他は可能な範囲で外勤に行っています。医局の先生方やスタッフの方々には本当に助けて頂いており、私の体調が悪い時や子供のことで休まざるを得ない時は代医をしてくださったり、調整してくださったりしていただいています。そのおかげで自分のペースで勉強しながら勤務することができています。勤務形態によって日中空いている時間帯は子供の習い事の準備をしたり、子供がいるとなかなか難しい家事を行ったりしており、不安視していた子供時間の短縮もクリアでき、精神的にも安定しております。

今年度に第 2 子出産予定のため、きらめきプロジェクトは一旦退職予定ですが、この貴重な経験を活かして出産後も患者さんのために努力していきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



2020 年 10 月よりきらめきプロジェクト所属の、卒後 8 年目の消化器内科医です。同じく消化器内科医の夫と 3 歳の息子の 3 人家族です。

初期研修は福岡市の市中病院で行いましたが、夫の移動に伴い、後期研修を東京の市中病院で行いました。後期研修の途中に息子を妊娠、出産し、1 年間の産休と育休を取得しました。後期研修が終わるタイミングで、夫の移動で福岡に戻るとなりました。まだ復帰して間がなかったこと、年度末で引っ越しがスムーズにできなかったこと、コロナ禍に突入したこと(2020 年 3 月)、遠方で保育園探しが難航したことなど様々な事情が重なり、2020 年 4 月からは休職した状態で福岡へ戻ってきました。引っ越しが落ち着いた段階で非常勤勤務などを開始しました。しかし、後期研修中に内科ローテーション期間があったことに加え、産休・育休で休職期間があり、専門分野の技術の習得が不十分でした。また、専門医を取得するために必要な症例経験を積めていない段階でした。そこで、子育てと医師としてのキャリアアップを両立できる職場として、きらめきプロジェクトに参加させていただくこととしました。きらめきプロジェクトでは、大学の先生方に助けていただき、習得が不十分であったところを重点的に勉強することができました。また、専門医申請に必要な症例経験を積ませていただきました。現在、第 2 子を妊娠しており、また休職を予定しています。まだまだ研鑽が必要ですが、復帰時には前より自信をもって消化器内科医と名乗ることができそうです。これからもご指導よろしくお願い申し上げます。